

# 墓地の落ち葉は？

## 協議会・アンケートを実施

墓地の万年塀の改修のための説明会で、最も多く寄せられた意見が、墓地の落ち葉の掃除についてでした。

そこで協議会では、墓地に面してお住まいの方を対象に9月21日～25日にアンケート調査を行いました。その結果、多くの方が定期的な清掃や剪定、ごみ対策を望んでいらっしゃる事が判りました。協議会および関係する町会ではこのアンケートの結果をもとに都に対して次の内容の要望書を提出します。

### 住民要望のまとめ

- ①定期的な清掃
  - ・毎週、あるいは毎月、定期的に清掃してほしい
  - ・特に落ち葉の時期には特別体制で行ってほしい
- ②定期的な樹木の剪定
  - ・道路際の樹木は街路樹と同じ考え方で、年2回の剪定してほしい
  - ・落葉前の剪定を強化してほしい
- ③落ち葉ごみへの対策
  - ・落ち葉ごみ用のごみ収集袋を配布してほしい
  - ・落ち葉ごみの袋を回収する収集場所を設置してほしい

雑司が谷発見③

## 雑司が谷の鎌倉街道

矢島勝昭

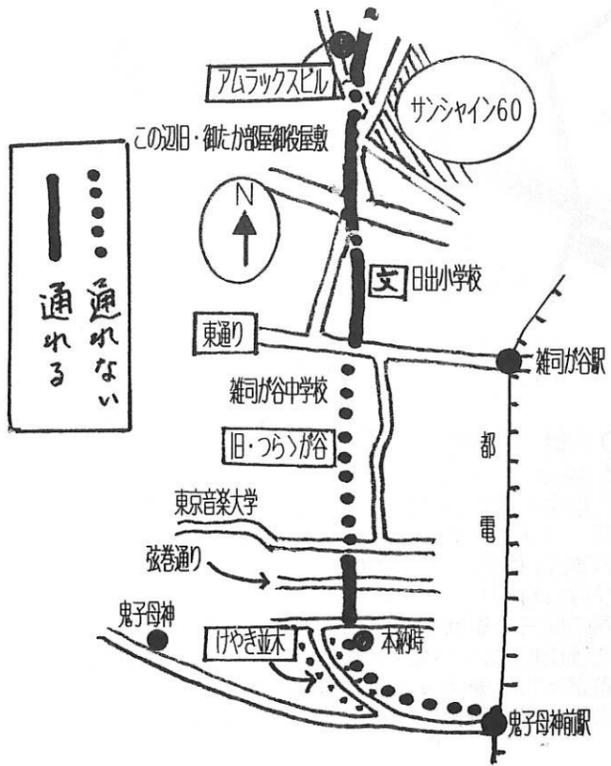
●鎌倉から台東区上野忍岡を通り奥州などへ通じる鎌倉街道を「下の道」と言います。途中大田区池上で分かれ目黒・千駄ヶ谷・旧高田馬場・面影橋・宿坂のやや東を抜け鬼子母神大門東裏通り（今はない）・本納寺前、弦巻通りを横切って蓮成寺（明治二十八年移転）と百姓忠左衛門の家（江戸地図）との間の坂を登る道（現東京音大構内）も鎌倉街道と呼ばれていた。音大構内にあった傾斜地はつららが谷と呼ばれて「頼朝公見送りの松」または「腰掛の松」という松の老木があり、崖下には「頼朝公茶立ての井」という名水もあった。しかし、松も井も江戸時代にかれた。

●迂回して東通りへ出る。日出小学校西門前の道をたどる。この道は鎌倉街道なごりの道だ。

●首都高速5号線へ出た所が江戸時代御鷹部屋御役屋敷があった所、巢鴨原はすこし北の方だ。この辺は街道らしき跡を見分けることは困難である。

●街道はサンシャイン60の西南角をかすめアムラックス裏の路地を抜けて春日通を渡り、時習小学校まで一直線に進むが、今は迂回が必要だ。時習小の先にJRの線路を跨ぐ宮仲橋がある。以前ここが踏切だった頃は「第一鎌倉踏切」と言った。

●大分はしょりましたが、「下の道」の本道が海岸寄りでぬかるみが多いことを考えると、「東鑑」や「源平盛衰記」などから、頼朝はこの道を2往復半（半は千葉から鎌倉入りの片道通行）ほどしている。想像すると散歩も楽しくなってきます。



# まちづくりニュース 48 1998・11

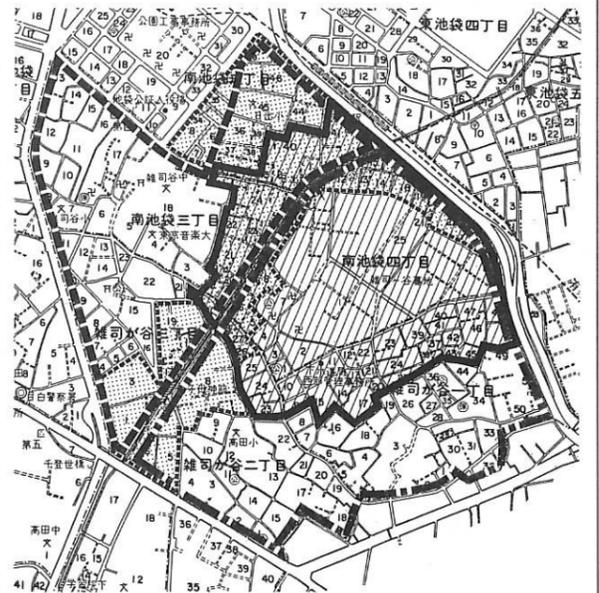
ぞうし  
がや

- 企画・発行  
雑司が谷地区まちづくり協議会  
財団法人 豊島区街づくり公社  
☎ 3981-1111(内)2883 / 房野・上野  
豊島区都市整備部まちづくり推進課  
☎ 3981-1111(内)2862 / 鈴木・森
- 編集協力  
財団法人 都市防災研究所  
☎ 5706-6031 / 小野  
豊島区広報印刷物 H20-10-103

## 動きはじめる防災都市づくり

「防災都市づくり」の重点地区に位置づけられた雑司が谷地区では、その動きを受けてさまざまな事業が行われます。区では、これまでの不燃化促進事業に加えて、次の2つの事業とルールづくりを検討しており、今年度、調査を行っています。この中の2つの事業は、不燃化促進事業が建て替えに助成する事業であるのに対して、様々な地区施設などを整備することができるものです。これまで以上に地区の防災まちづくりを進めることが期待される事業です。

- 防災生活圈促進事業  
幹線道路などに囲まれた地区を単位に、道路、公園広場や緑、街並みなど安全で住みよい環境を作り、「逃げないですむまちづくり」を進める事業
- 街並み環境整備事業  
住宅が密集し、道路などが未整備な地区で、道路や公園広場などの地区施設や防災設備、集会所などの生活環境施設の整備を行い、住環境の整備改善を進める事業
- 地区計画  
まちの特徴にあわせ、地区にあったまちづくりのルールを住民と区でつくり、そのルールを法的に担保するのが地区計画制度です。建築を行う時は、このルールに沿って行います。



# 墓地の万年塀 生垣とフェンスに

## 墓地の万年塀が改修されます

雑司が谷地区は平成8年度、東京都の防災都市づくりの重点地区に位置づけられましたが、これをきっかけに、墓地の周囲を取り囲む万年塀の危険性が改めて認識されました。

東京都では今年度から3年計画で、万年塀を撤去し、新たに生垣等をつくります。これまで協議会が提案しながら、なかなか実現できなかったインナーリンク構想が、この改修工事により一歩前進することになります。

## インナーリンク構想とは

インナーリンクとは、墓地廻りのみちをさします。墓地の万年塀を取り払い、墓地の外周部に歩道をつくり緑豊かな散策路にするという構想です。これによって広域避難場所である墓地に避難しやすくなることが第一の目的となっています。

協議会では昭和59年にインナーリンクの提案を行い、その後、昭和62年に区長にその実現に向けての提言を行いました。それを受けて豊島区では、東京都と粘り強く交渉を行ってききましたが、実現するには至っていませんでした。

## インナーリンクの5つの目的

協議会が提案するインナーリンクには、次の5つの目的があります。今回の万年塀の改修にあたって、それが再確認されました。

- ① 避難しやすい墓地づくり
- ② 安心して歩けるみちづくり
- ③ 夜も安心な墓地へ
- ④ うるおいのあるまちづくり
- ⑤ 消防車の入るみちづくり

## 今年の動き

今回の都の万年塀改修計画は、今年5月に入ってから区と協議会が情報を得たものです。

協議会ではインナーリンクの目的にあった整備をしていただくために、都に要望書を提出すると共に、今回の工事部分について、地元の皆さんと協議し要望のとりまとめを行いました。

- 6月19日 協議会で検討、要望をまとめる
- 7月3日 東京都に要望書提出
- 8月10日 協議会で都案を検討、要望をまとめる
- 8月20日 地元住民説明会、住民要望のまとめ
- 9月3日 地元住民説明会、最終要望のまとめ
- 10月1日 都と区の協議により最終案決定

## インナーリンクの実現へ一歩前進

協議会と地元の皆さんの熱意により、今回の工事は、セットバックは1ヶ所のみとなりますが、インナーリンクの実現に向けての第一歩となりました。今回行われる工事の内容は次のとおりです。

- ① 万年塀の生垣化……万年塀を撤去して生垣（高さ1.2m）にします。墓地の内部に余裕がないところではフェンス（高さ1.2m）にツタをはわせて緑化します。
- ② ケヤキ廻りの歩行者路……道路にケヤキが出て危険な所の1つでは、墓地内に歩行者路を整備し、安心して歩けるようにします。
- ③ 入口の増設……避難をしやすくするために、墓地の入口を2ヶ所増設します。
- ④ 雨水排水……護国時側の排水の悪い所を直します。

## これからの整備

今年度の工事は墓地の南側370mの範囲となります。ひきつづき、平成11年度と12年度にも工事が行われます。

●平成11年度……万年塀と墓石との間に空きスペースがある箇所については、歩行者が歩けるような整備を要望していきたく協議会では考えています。これにより、インナーリンク構想に近い形の歩道が期待できます。

●平成12年度……道路幅が4m未満の狭い道路のある区間で防災上問題があります。塀の改修に伴い、道路中心から2mの後退を要望していきます。

## 管理は区と地元で

都と区の協議で、整備後の生垣は区で管理することになっています。

区もこれを受け、管理費を予算化し、剪定や薬剤散布、施肥の管理を行っていきます。

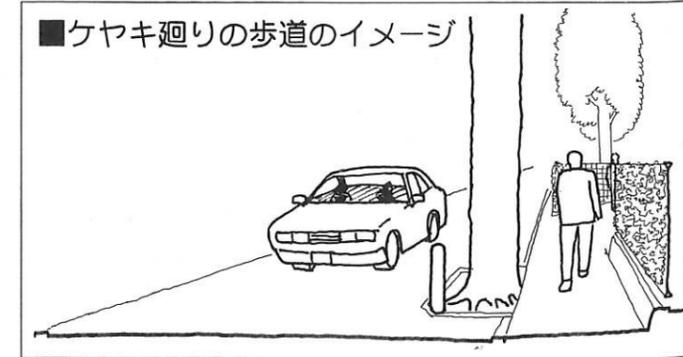
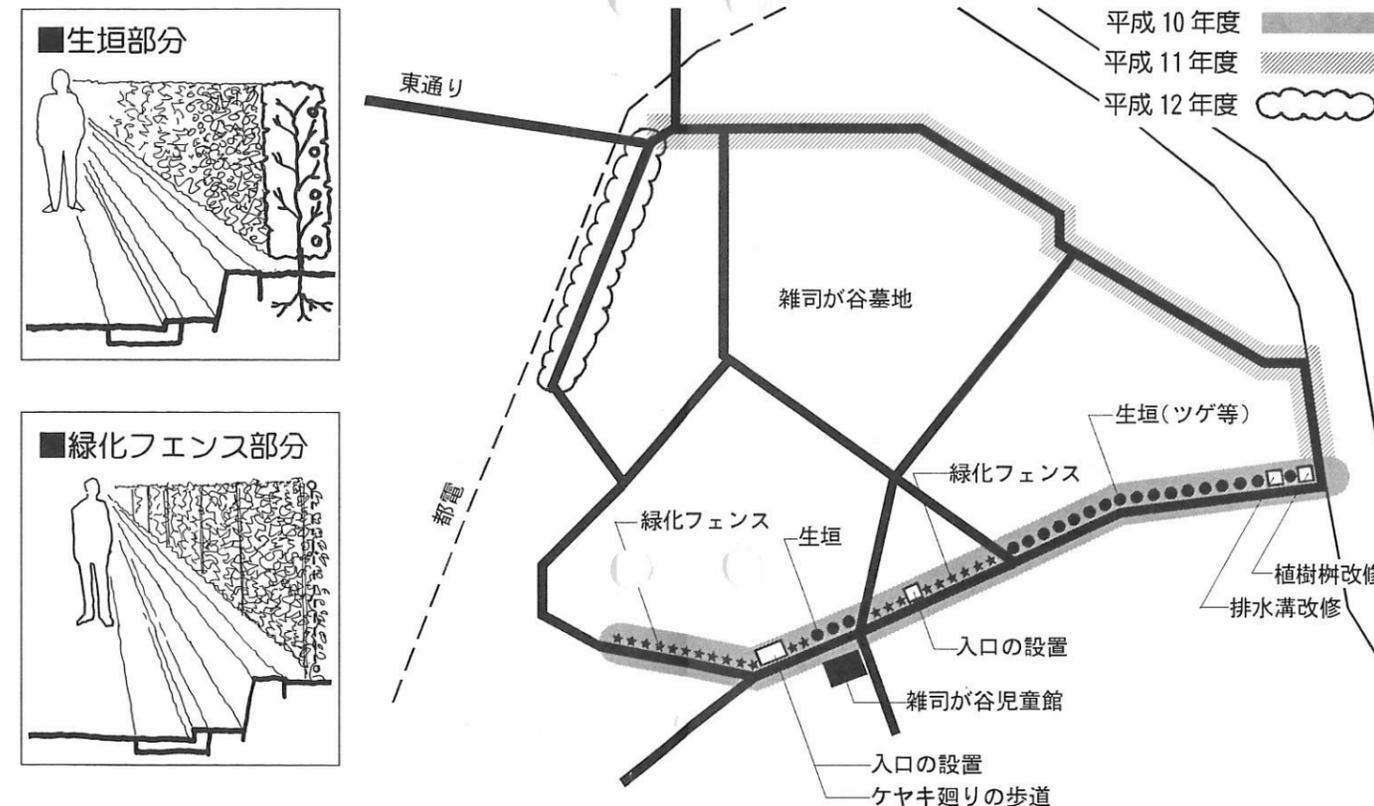
協議会ではこれを機に地域のコミュニティを広げ、防災まちづくりの意識を高めていこうと考えています。そこで生垣の足元のごみ拾い等、負担がなるべくかからない形で管理にご参加いただく会をつくっていこうと考えています。

## 将来に向けて

将来の墓地の特殊公園化を見込んだ、墓地外周部の整備をめざすには、外周部にある墓石の墓地内移転を実現する必要があります。協議会では、都議会に対して条例化を働きかけてまいります。

## 雑司が谷墓地の万年塀改修計画

### 東京都の3ヶ年計画



## 東京都の方針（平成10年度）

- ① 万年塀を撤去し、生垣を中心とした整備を行う
- ② 現状で万年塀と墓石の間にスペースが取れない箇所については、フェンスを設置しツタを這わせたい
- ③ 上記の位置は、現状の万年塀の位置を基本とする（セットバックはしない）
- ④ 墓地北側の部分で現状の万年塀と墓石との間にスペースがある箇所についてはセットバックまたは園内通路を歩行者路として兼用するような整備を考えたい
- ⑤ 整備後の生垣等の管理については、区で対応願いたい